

企 画 討 論 会

日 時：平成24年5月31日（木）9：30～12：00
会 場：岡山コンベンションセンター コンベンションホール
テ ー マ：「新学習指導要領の導入：大学の対応と課題」
司 会：大久保 敦（大阪市立大学大学教育センター 教授）
中 島 範 行（富山県立大学工学部 教授）

パネリスト及びサブテーマ：

安 彦 忠 彦（早稲田大学教育・総合科学学術院 特任教授）
「新学習指導要領のカリキュラム作成について」
荒 井 克 弘（大学入試センター 試験・研究統括官）
「学習指導要領の改訂と大学入試センター試験」
青 山 彰（全国高等学校長協会会長、東京都立国際高等学校長）
「高校での対応と課題」
川 嶋 太津夫（神戸大学 大学教育推進機構教授・国際協力研究科教授）
「学習指導要領の改訂と高大接続」

内 容

平成25年度からの学習指導要領の全面改訂を前に、平成24年度から理科、数学で新指導要領が先行実施され、新学習指導要領の下で理科、数学を学んだ高校生が平成27年度大学入試を迎える。現在高校では、平成27年度入試をにらみながら準備した新しいカリキュラムを運用しているが、大学側では新学習指導要領へのそれほどの実感はなく、高校現場との温度差がある様に思える。

今回のフォーラムでは、新学習指導要領が大学教育へ及ぼす影響をとらえ、今後の対応と課題を考える。学習指導要領の導入と大学入試制度の変遷をたどり、学習指導要領の変更により、大学入試の高校教育に対する規定力がどの様に変化し、どのような意味を持ってきたのか、また、新学習指導要領導入後の高校現場での現状に基づいて、今後の高大接続や大学入試のあり方、方策について考える。

公開討論会

日時：平成24年5月31日（木） 13:10～16:10

会場：岡山コンベンションセンター コンベンションホール

テーマ：「秋季入学を考える」

司会：繁 榊 算 男（帝京大学文学部 教授）

垂 水 共 之（岡山大学環境生命科学研究科 教授）

パネリスト：鈴 木 敏 之（東京大学 副理事）

荒 瀬 克 己（京都市教育委員会 教育企画監）

岡 崎 仁 美（㈱リクルート HR カンパニー リクナビ編集長）

藤 井 雅 徳（㈱ベネッセコーポレーション

高校事業部海外進学支援課 課長）

内 容

秋季入学についてはこれまで3回の波があり、そのたびに検討が行われ、大学によっては実施したところもあるが、志願者の減少とともに取りやめるところもあり、大きな波とはなりえなかった。本協議会でも平成20年度（第3回）設置形態別テーマ指定討論会（国立大学部会）で一度取り上げたことがあるが、その後あまり進展はなかった。その原因の一つは春季入学を中心とし、一部秋季入学を受け入れるという春季入学と秋季入学の併設に伴う、カリキュラム等の問題が一番ネックになっていた。

平成23年度に入り、東京大学が全入学生の秋季入学への移行の検討を始め、1月には中間まとめも発表され、新しい局面を迎えている。秋季入学一本であれば、カリキュラム等の問題は少ないものの、その他クリアしなければならない問題も散在する

秋季入学への全面移行を中心に、問題は克服されたのか、克服される見通しはあるのか、再検討することにより、秋季入学を一部導入した場合の問題点も考え、各大学が秋季入学を検討する上での共通のベースとする。